

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー								
				DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1)社会人として高いモラルと教養を有し、臨床検査学、食品科学、環境科学分野を含む健康科学に関する専門知識や技能を総合的・学問的に理解している。 (2)健康科学に関して修得した知識や技能を活用し実践的に役立てることができる。		(1)健康科学の現場の様々な課題に対して、健康科学に関連する手法を用いて考察することができる。 (2)学問研究を支える基礎的な知識と技能、高い教養と幅広い視野を活用し、協同して社会的課題を解決できる。 (3)批判的思考（クリティカル・シンキング）を通して自分の意見を論理的に表現することができる。			(1)健康科学に関する課題を探究し、主体的・継続的に学修することができる。 (2)医療と保健の幅広い分野で国民の健康づくりに貢献するために、与えられた課題に対して、さらなる向上心や責任感を持って対処することができる。		(1)教養と高い倫理性を備え、グローバルな視野で異文化を理解し、課題を見つけて協同することができる。	
1	英語 A	半期	講義	○		○				○		
2	英語 B	半期	講義	○		○				○		
3	コミュニケーション英語 A	半期	講義	○		○				○		
4	コミュニケーション英語 B	半期	講義	○		○				○		
5	情報科学（健康科学科用）	半期	講義	○		○				○		
6	化学	半期	講義	○		○				○		
7	分析化学	半期	講義	○		○				○		
8	化学演習	半期	講義	○		○				○		
9	生化学 A	半期	講義	○		○				○		
10	生化学 B	半期	講義	○		○				○		
11	生化学実習	半期	実習		○		○	○			○	
12	分子生物学	半期	講義	○		○				○		
13	生理学	半期	講義	○		○				○		
14	生理学実習	半期	実習		○		○	○			○	
15	解剖学	半期	講義	○		○				○		
16	解剖学実習	半期	実習		○		○	○			○	
17	病理学	半期	講義	○		○				○		
18	微生物学	半期	講義	○		○				○		
19	血液学	半期	講義	○		○				○		
20	免疫学	半期	講義	○		○				○		
21	公衆衛生学	半期	講義	○		○				○		
22	公衆衛生学実習	半期	実習		○		○	○			○	
23	生理活性学	半期	講義	○		○				○		
24	薬理学概論	半期	講義	○		○				○		
25	環境衛生学	半期	講義	○		○				○		
26	予防医学概論	半期	講義	○		○				○		
27	保健医療福祉概論	半期	講義	○		○				○		
28	情報科学概論	半期	講義	○		○				○		
29	医用工学概論	半期	講義	○		○				○		
30	医用工学演習	半期	演習		○		○	○			○	
31	形態学 A（病理検査学）	通年	講義	○		○				○		
32	形態学 B（血液形態検査学）	半期	講義	○		○				○		
33	形態学 C（一般検査形態学）	半期	講義	○		○				○		
34	形態学 D（病理検査学実習）	半期	実習		○		○	○			○	
35	形態学 E（血液形態検査学実習）	半期	実習		○		○	○			○	
36	形態学 F（一般検査形態学実習）	半期	実習		○		○	○			○	
37	健康情報学 A（医療情報学）	半期	講義	○		○				○		
38	健康情報学 B（医療統計学）	半期	講義	○		○				○		
39	健康情報学 C（医療情報管理学）	半期	講義	○		○				○		
40	健康情報学 D（疫学・保健統計学）	半期	講義	○		○				○		

				ディプロマ・ポリシー								
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1)社会人として高いモラルと教養を有し、臨床検査学、食品科学、環境科学分野を含む健康科学に関する専門知識や技能を総合的・学問的に理解している。 (2)健康科学に関して修得した知識や技能を活用し実践的に役立てることができる。		(1)健康科学の現場の様々な課題に対して、健康科学に関連する手法を用いて考察することができる。 (2)学問研究を支える基礎的な知識と技能、高い教養と幅広い視野を活用し、協同して社会的課題を解決できる。 (3)批判的思考（クリティカル・シンキング）を通して自分の意見を論理的に表現することができる。			(1)健康科学に関する課題を探索し、主体的・継続的に学修することができる。 (2)医療と保健の幅広い分野で国民の健康づくりに貢献するために、与えられた課題に対して、さらなる向上心や責任感を持って対処することができる。		(1)教養と高い倫理性を備え、グローバルな視野で異文化を理解し、課題を見つけて協同することができる。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	
41	生体試料分析学 A（一般検査学）	半期	講義	○		○			○			
42	生体試料分析学 B（止血検査学）	半期	講義	○		○			○			
43	生体試料分析学 C（輸血移植検査学）	半期	講義	○		○			○			
44	生体試料分析学 D（一般検査学実習）	半期	実習		○		○	○		○		
45	生体試料分析学 E（止血検査学実習）	半期	実習		○		○	○		○		
46	生体試料分析学 F（輸血移植検査学実習）	半期	実習		○		○	○		○		
47	臨床化学特論 A（臨床化学検査学）	通年	講義	○		○			○			
48	臨床化学特論 B（臨床化学検査学実習）	半期	実習		○		○	○		○		
49	放射線化学特論（放射線同位元素検査学）	半期	講義	○		○			○			
50	遺伝学 A（遺伝学）	半期	講義	○		○			○			
51	遺伝学 B（遺伝子検査学）	半期	講義	○		○			○			
52	遺伝学 C（遺伝子工学）	半期	講義	○		○			○			
53	遺伝学 D（遺伝子検査学実習）	半期	実習		○		○	○		○		
54	微生物学特論 A（微生物検査学）	通年	講義	○		○			○			
55	微生物学特論 B（微生物検査学実習）	半期	実習		○		○	○		○		
56	免疫学特論 A（免疫検査学）	通年	講義	○		○			○			
57	免疫学特論 B（免疫検査学実習）	半期	実習		○		○	○		○		
58	精度管理学	半期	講義	○		○			○			
59	検査機器管理学	半期	講義	○		○			○			
60	検査管理総論	半期	講義	○		○			○			
61	臨床医学総論	半期	講義	○		○			○			
62	細胞検査学演習	半期	講義	○		○			○			
63	健康科学演習 A	半期	講義	○		○			○			
64	健康科学演習 B	半期	講義	○		○			○			
65	卒業研究	通年	演習		○		○	○		○	○	
66	メディカル英語	半期	講義	○		○			○			
67	医療安全管理学	半期	講義	○		○			○			
68	生命倫理学	半期	講義	○		○			○			
69	健康科学基礎演習	半期	演習		○		○	○		○	○	
70	基礎科学	半期	講義	○		○			○			
71	基礎生物学	半期	講義	○		○			○			
72	健康科学特別演習	半期	演習		○		○	○		○	○	
73	卒業研究演習	通年	演習		○		○	○		○	○	
74	生理学特論 A（生理機能検査学）	通年	講義	○		○			○			
75	生理学特論 B（生理機能検査学実習）	半期	実習		○		○	○		○		
76	生理学特論 C（超音波検査学演習）	通年	演習		○		○	○		○		
77	救急処置法	半期	講義	○		○			○			
78	臨床病態学 A（臨床検査医学総論）	半期	講義	○		○			○			
79	臨床病態学 B（病態解析総論）	半期	講義	○		○			○			
80	臨地実習	半期	実習		○		○	○		○		

				ディプロマ・ポリシー								
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1)社会人として高いモラルと教養を有し、臨床検査学、食品科学、環境科学分野を含む健康科学に関する専門知識や技能を総合的・学問的に理解している。 (2)健康科学に関して修得した知識や技能を活用し実践的に役立てることができる。		(1)健康科学の現場の様々な課題に対して、健康科学に関連する手法を用いて考察することができる。 (2)学問研究を支える基礎的な知識と技能、高い教養と幅広い視野を活用し、協同して社会的課題を解決できる。 (3)批判的思考（クリティカル・シンキング）を通して自分の意見を論理的に表現することができる。			(1)健康科学に関する課題を探索し、主体的・継続的に学修することができる。 (2)医療と保健の幅広い分野で国民の健康づくりに貢献するために、与えられた課題に対して、さらなる向上心や責任感を持って対処することができる。		(1)教養と高い倫理性を備え、グローバルな視野で異文化を理解し、課題を見つけて協同することができる。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	
81	要説臨床検査学 A（分析系）	通年	講義	○		○			○			
82	要説臨床検査学 B（形態系）	通年	講義	○		○			○			
83	要説臨床検査学 C（感染免疫系）	通年	講義	○		○			○			
84	要説臨床検査学 D（生体機能系）	通年	講義	○		○			○			
85	要説臨床検査学 E（医療情報系）	通年	講義	○		○			○			
86	食品科学 A（食品衛生管理学）	半期	講義	○		○			○			
87	食品科学 B（食品衛生関係法規）	半期	講義	○		○			○			
88	食品科学 C（食品衛生学）	半期	講義	○		○			○			
89	食品科学 D（健康食品総論）	半期	講義	○		○			○			
90	環境科学 A（環境測定分析概論）	半期	講義	○		○			○			
91	環境科学 B（労働衛生関係法規）	半期	講義	○		○			○			
92	環境科学 C（環境測定分析実習）	半期	実習		○		○	○		○		
93	環境科学 D（環境測定分析現場実習）	半期	実習		○		○	○		○		
94	スポーツ医学	半期	講義	○		○			○			
95	スポーツ生理学	半期	講義	○		○			○			
96	トレーニング生理学	半期	講義	○		○			○			
97	スポーツ測定法	半期	講義	○		○			○			
98	スポーツ栄養学	半期	講義	○		○			○			
99	スポーツ心理学	半期	講義	○		○			○			
100	レクリエーション概論	半期	講義	○		○			○			
101	スポーツ経営学	半期	講義	○		○			○			
102	生涯スポーツ論	半期	講義	○		○			○			
103	発育発達論	半期	講義	○		○			○			
104	学校保健	半期	講義	○		○			○			
105	野外活動論	半期	講義	○		○			○			
106	健康科学概論	半期	講義	○		○			○			
107	スポーツ・健康科学特殊講義	半期	講義	○		○			○			